

広島県経済の動向

2021年7月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	4月	5月	6月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。	
輸 出	増加テンポが緩やかになっている。	緩やかな増加が続いている。	
生 産	持ち直している。		
設 備 投 資	持ち直している。		
雇 用 情 勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。		
個 人 消 費	このところ弱含んでいる。	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。	
住 宅 建 設	おおむね横ばいとなっている。		底堅い動きとなっている
企 業 収 益	感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。		

(2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年6月24日公表）】

2 広島県経済の動向

(1)概要

指 標	R3年		
	4月	5月	6月
基調判断	全体としては持ち直し基調にあるが、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響から、サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている。	持ち直しのペースが鈍化している。	
輸 出	持ち直している。	持ち直しのペースが鈍化している。	
生 産	持ち直している。	持ち直しのペースが鈍化している。	
設 備 投 資	下げ止まりつつある。		下げ止まっている。
雇 用 情 勢	弱い動きがみられている。		
個 人 消 費	持ち直しの動きが続いているが、足もとでは、サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている。	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しが一服している。	
住 宅 投 資	下げ止まりつつある。	下げ止まっている。	

(2)県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、そのペースは緩やかなものにとどまるとみられる。今後とも、感染症が県内の経済金融情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年7月1日公表）】

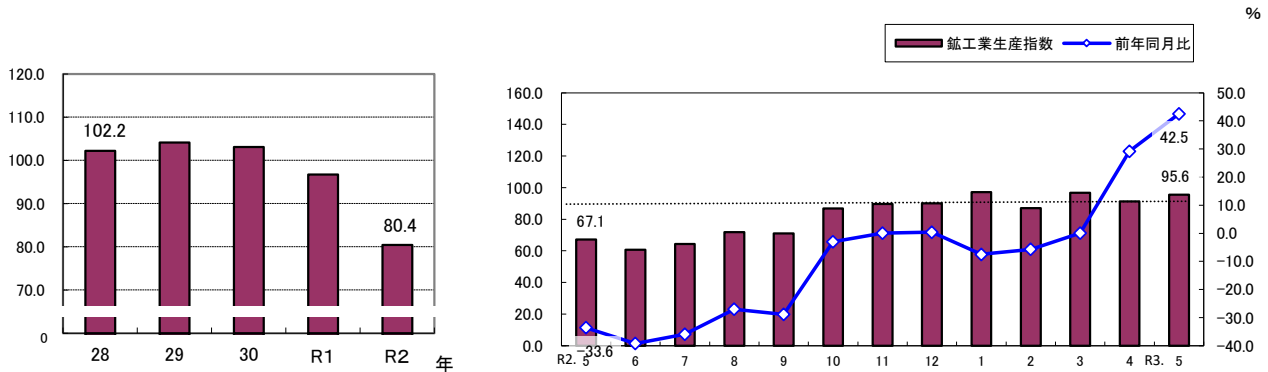
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和3年5月)

5月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は95.6で、前年同月比で42.5%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



○最近の景況

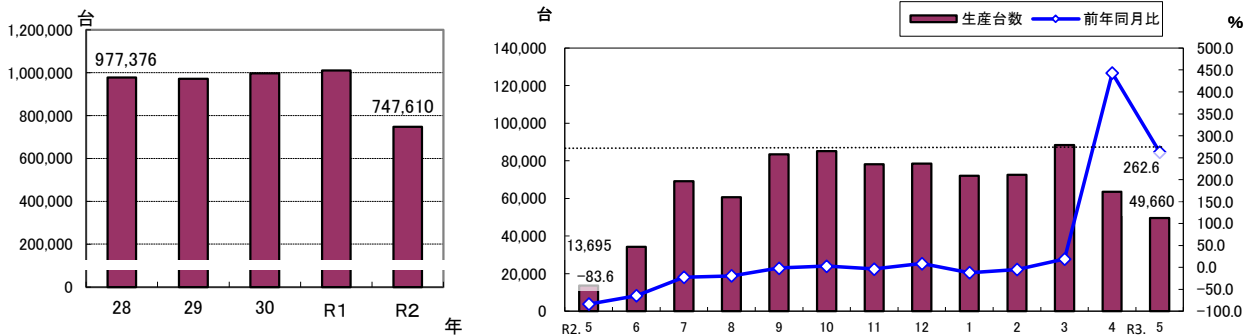
持ち直している。

2 自動車(令和3年5月)

5月の国内生産台数は49,660台で、前年同月比で262.6%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比)

【マツダ(株)】



○最近の景況

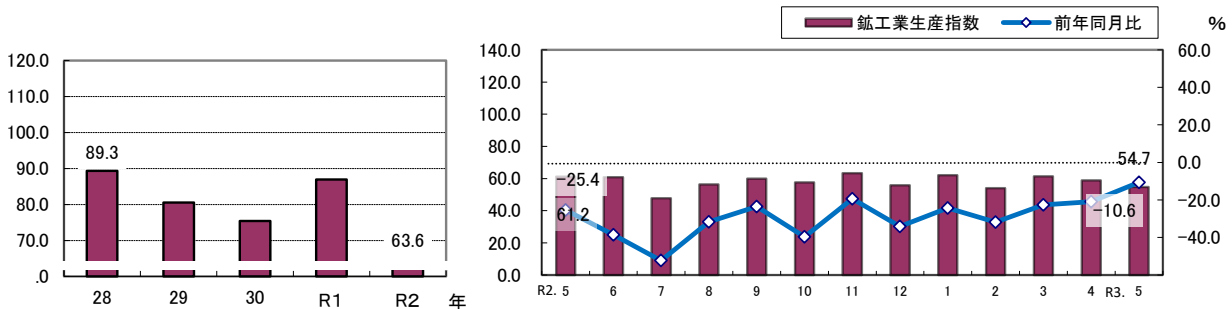
持ち直しが一服している。

3 造船(令和3年5月)

5月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は54.7で、前年同月比で10.6%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



○最近の景況

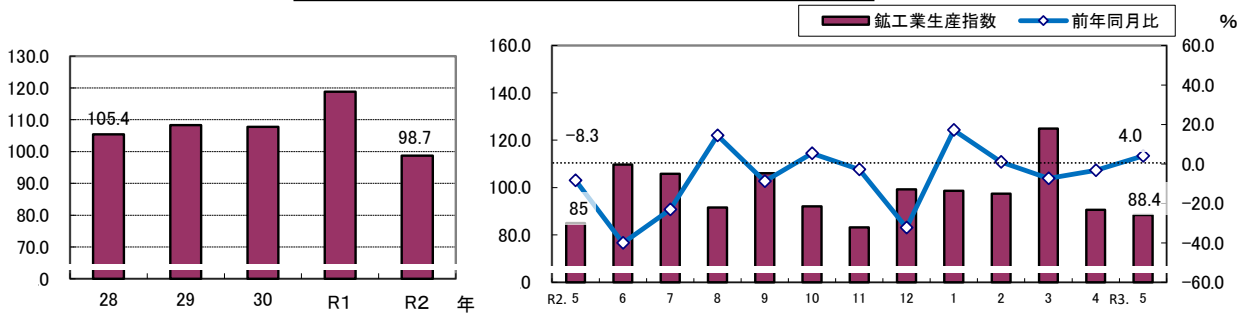
減少している。

4 一般機械(令和3年5月)

5月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は88.4で、前年同月比で4.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



○最近の景況

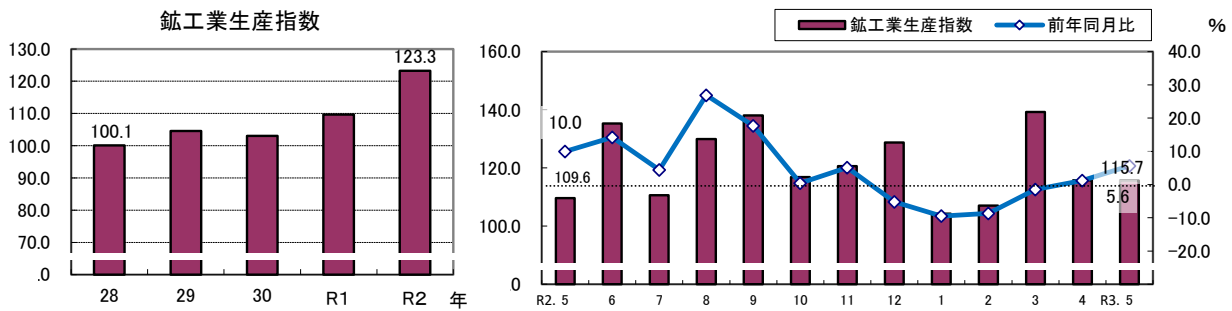
持ち直しの動きがみられている。

5 電気機械(令和3年5月)

5月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は115.7で、前年同月比で5.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



○最近の景況

高操業を続けている。

※ 「最近の景況」は、令和3年7月1日公表の日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」より。

Ⅲ 中小企業の動向(令和3年5月)

【広島県中小企業団体中央会】

【1】概況

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比46.3%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同10.6%増加と2ヶ月連続で前年越え、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比148.5%増加で前月に続き前年超えとなった。

トラック輸送業界では、緊急事態宣言の発令や世界的な半導体不足等の影響により、宣言が出ている地域、特に関東、中部、関西方面からの返路貨物の荷動きが悪い。また、最近の燃料価格の高騰は大半の運送企業に大きなダメージを与えており、価格転嫁できない企業にとっては厳しい状況が見られる。

全体的に、新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言の発令で、景気の停滞が見られる。前年比、前年同月比で売上が増加したところもあるが、実感があまり無い様子である。

【2】景況感・景況感の変化

業種	4月の景況感	5月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	やや悪い	やや悪い
鉄鋼(鋳物)	悪い	悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	4月の景況感	5月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	やや悪い

(単位・業種)

景況感	4月	5月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	3	2	▲1
やや悪い	13	14	1
悪い	3	3	0

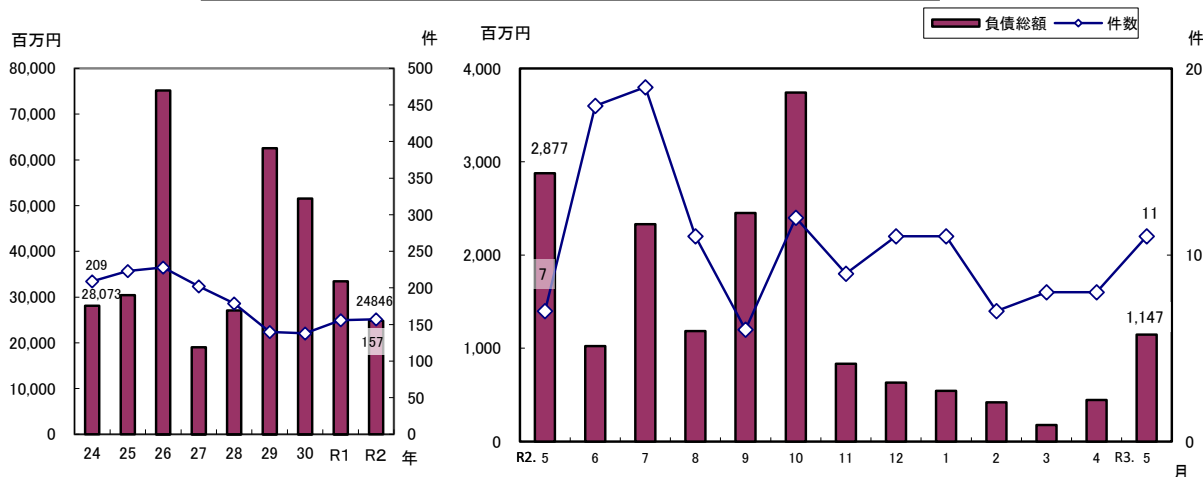
IV 企業倒産状況(令和3年5月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が11件、総額11億4,700万円であった。
- ・前月比で件数は3件増加し、負債総額は7億1000万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は4件増加し、負債総額は17億3,000万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

区 分	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
件 数 (前年同月比)	8件 (55.6%減)	8件 (65.2%減)	11件 (57.1%増)
負債総額 (前年同月比)	178百万円 (97.2%減)	446百万円 (83.3%減)	1,147百万円 (60.1%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が各2件、不動産業が3件、建設業、サービス業が各1件となった。負債総額では、その他、卸・小売・飲食業、サービス業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が7件、シワ寄せが2件、信用性低下、売掛金回収難が各1件であった。

4 今後の見通し

2021年5月度の倒産件数は前年同月比9カ月ぶりの増加となった。しかし、前年同月の2020年5月度は広島県に於いても「緊急事態宣言」の対象地域となって裁判所や弁護士事務所などの業務が縮小されていた影響で少なくなっていたこともあり、加えて感染拡大後に打ち出されたコロナ関連の各種支援策の効果によって倒産の発生は抑制された状態が続いている。【2021年1月から5月迄(5カ月間)の累計倒産件数は45件、累計負債総額は27億3,700万円、前年の2020年1月から5月迄の累計比で倒産件数は36件減(前年81件)、負債総額は131億1,300万円減(前年158億8,500万円)】

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響は多方面に広がっており、「ウッドショック」と呼ばれる木材不足の深刻化など、モノによっては需給バランスが変化し、大幅に値上がりしているモノや入荷の見通しが立ちにくいモノも出てきている。広島県内企業に於いても「ウッドショック」などの影響を受ける企業が広がっていることに加え、第4波による「緊急事態宣言」によって当初から大きなインパクトを受けている飲食、宿泊、観光関連業に於いても取り巻く環境の厳しさはさらに増している。

前述の通り、厳しい経済環境の中で「withコロナ」、「アフターコロナ」への対応だけでなく、「SDGs」、脱炭素社会への取り組みも不可欠となってきているが、体力がない企業にとっては変化する環境への対応は容易ではなく、未だ新型コロナウイルスの収束の見通しが見えない状況に中小・零細企業は疲弊感を強めており、休廃業・廃業を含め持ち堪えられない企業の増加が懸念される。

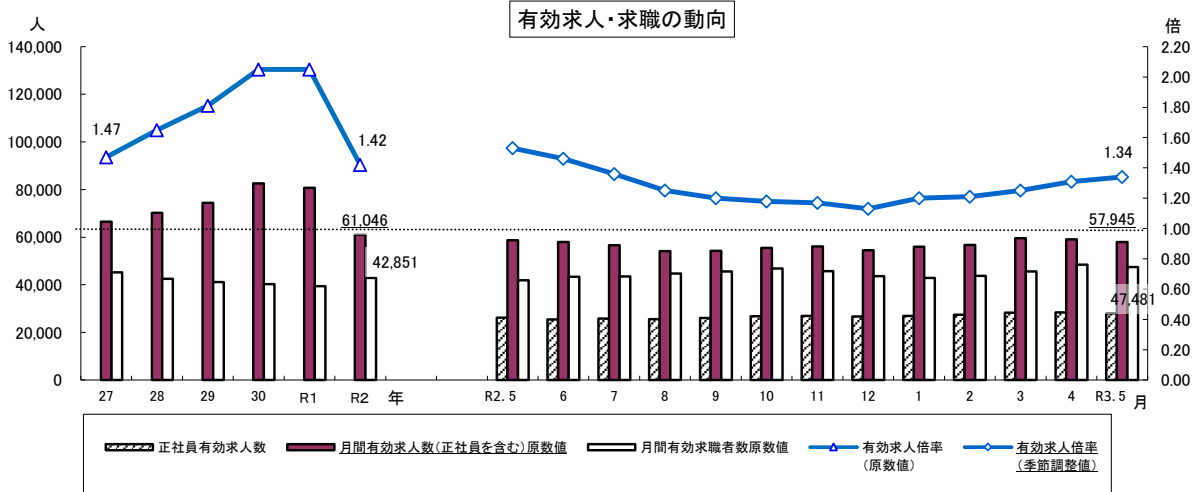
【(株)東京商工リサーチ】

V 最近の雇用失業情勢(令和3年5月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.25倍 (+ 0.04ポイント)	1.31倍 (+ 0.06ポイント)	1.34倍 (+ 0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.03倍 (▲ 0.20ポイント)	1.00倍 (▲ 0.10ポイント)	1.02倍 (+ 0.00ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

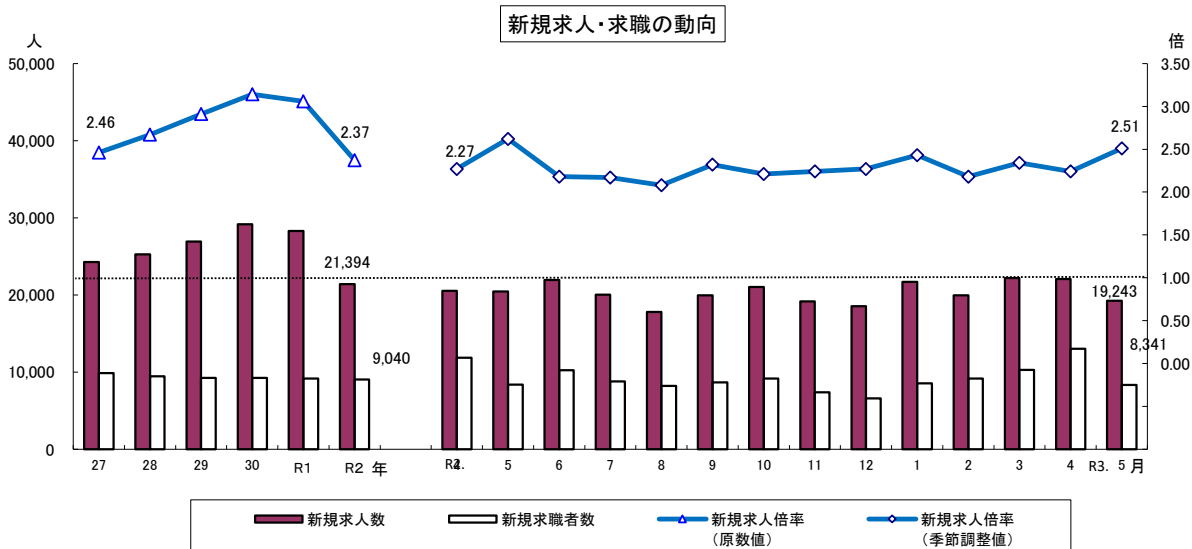
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)(令和3年度)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.34倍 (+ 0.16ポイント)	2.24倍 (▲ 0.10ポイント)	2.51倍 (+ 0.27ポイント)

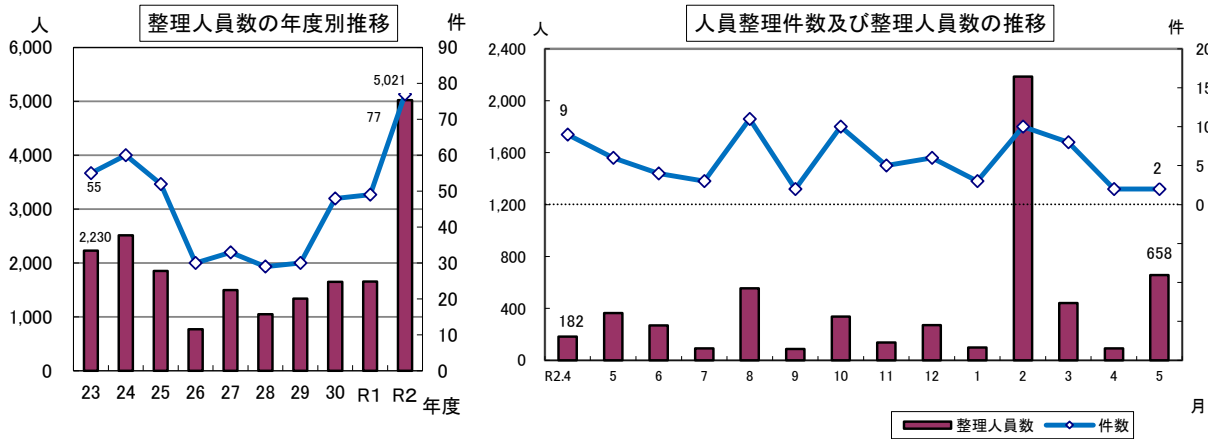
【広島労働局】



(注) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
件数 (前年同月比)	8件 (▲ 4件)	2件 (▲ 7件)	2件 (▲ 4件)
整理人員 (前年同月比)	441人 (▲ 30人)	92人 (▲ 90人)	658人 (+ 294人)

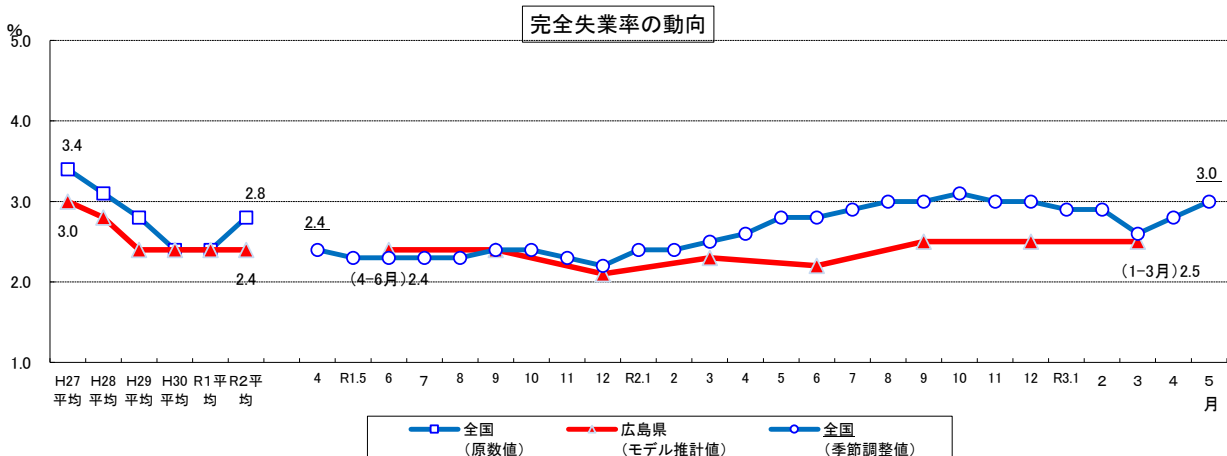


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
全国完全失業者数 (前年同月比)	188万人 (+12万人)	209万人 (+20万人)	211万人 (+13万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (▲0.3%)	2.8% (+ 0.2%)	3.0% (+ 0.2%)

区 分	令和2年		令和3年
	7~9月期平均	10~12月期平均	1~3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.5% (+ 0.1%)	2.5% (+ 0.3%)	2.5% (+ 0.2%)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。